



# 子どもの森づくり通信

発行：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク

〒146-0082 東京都大田区池上 1-3-4 tel:03-5755-3213 fax:03-5755-3081  
https://www.kodomonono-mori.net mailto:info@kodomonono-mori.net

J P 子どもの森づくり運動  
参加園月例会報  
(2022年11月号)

「J P 子どもの森づくり運動」とご縁をさせていただいた方々に、  
活動情報をお送りさせていただいております。ご意見など賜れば幸いです。

<今月の1枚>



早いもので、今年もあと一月を残すのみとなりました。

皆様にとって、今年はどうな1年でしたでしょうか。

「子森通信」11月号をお送りします。今月号では、来月開催の「エコプロ2022」と

2023年2月開催の「全国集会 & 研修会2023」についてご案内しました。

皆様の積極的なご来場、ご参加をお願い申し上げます。

(目次)

1. 「全国集会 & 研修会2023」参加者募集のご案内
2. 「どんぐりSDGs劇団」活動レポート（千葉県「今井保育園」）
3. 今年も「エコプロ2022」に出展します。
4. リレーエッセイ（2022年11月号）
5. 事務局（子森ネット）住所移転のご案内

## ■「J P 子どもの森づくり運動」とは

今、子どもたちは、高度な情報化社会の中でバーチャルな環境に取り囲まれ、本物の自然体験活動から遠ざけられています。しかしながら、子どもたちは、変化に富んだ自然体験活動の中でこそ、五感を通じて豊かな感性や健全な環境意識、そして子ども本来の生きる力を育みます。「J P 子どもの森づくり運動」は、NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク（「子森ネット」）が「日本郵政グループ」との協働体制で、全国の保育園・幼稚園・こども園を拠点に、一貫した森づくり活動を通じて幼児期の子どもたちに自然体験活動と環境学習の場を提供しようという全国運動です。

## ■「J P 子どもの森づくり運動」運営体制

- ・運営：NPO法人 子どもの森づくり推進ネットワーク（「子森ネット」）
- ・特別協賛：日本郵政グループ
- ・主な後援/協力/連携団体

(公社)全国私立保育連盟

NPO法人 富良野自然塾

(公社)大谷保育協会

(公社)こども環境学会

保育環境研究所ギビングツリー

国際校庭園庭連合日本支部

(公社)国土緑化推進機構

(一社)日本森林インストラクター協会

郵便局の魅力を発信するメディア「JP CAST」は  
下記QRコードからご覧いただけます。

郵便局の魅力を発信するメディア

JP cast



## 1. 「全国集会&研修会2023」参加者募集のご案内

JP子どもの森づくり運動「全国集会&研修会」は、年に一度、全国の保育者、保育関係者が集い、より良き保育活動を目指して協議と情報交換を行う大切な場です。今回のテーマは「**子どもの森づくりとSDGs**」としました。SDGsは、次世代のより良き未来を「願う」活動です。わたしたちは、日頃、少し遠いものとして感じているSDGsの活動を、子どものより良き未来を願うときにはじめて「**我がこと**」として考えられます。JP子どもの森づくり運動は、SDGsを「我がこと」として取り組む保護者と保育者によって推進されている活動です。長引くコロナ禍の中で、子どもたちの自然体験活動が規制されつつある現状を踏まえ、あらためて、JP子どもの森づくり運動の森林環境学習としての意義やその方法について、みんなで考える機会としたいと思います。皆様のご参加をお待ち申し上げます。詳細・参加お申込みは、別紙チラシをご参照願います。ホームページからもお申込みいただけます。

### ●開催概要

1. 開催時期：2023年2月14日(火)、15日(水)
2. 開催地：さいたま市子ども家庭総合センター「あいぱれっと」子ども研究センター（京浜東北線「与野駅」から徒歩約7分）
3. 主催：JP子どもの森づくり運動「全国集会&研修会2023」実行委員会  
【構成団体】子森ネット/国際校庭園庭連合日本支部/さいたま市私立保育園協会/児玉の森こども園/浦和ひなどり保育園
4. 特別協賛：日本郵政グループ
5. 後援・協力団体（予定）  
（公社）国土緑化推進機構 （公社）こども環境学会 （公社）全国私立保育連盟 （公社）大谷保育協会  
こども環境研究所ギビングツリー （社福）呉竹会 （社福）ひなどり保育園、他
6. 開催方法：会場参加とオンライン参加のハイブリッド方式
7. 募集人数（定員）：※会場参加（60名/1日）※オンライン参加（80名/1日）
8. 参加費（予定）：※会場参加（3000円/1日）※オンライン参加（1500円/1日）

### ●内容（スケジュール）案（※印：講師、パネラー）

#### 2/14(火) JP子どもの森づくり運動活動発表

13:15 「園庭緑化運動2022」活動発表  
\*モデル園活動発表 \*2022年度活動のまとめ  
※国際校庭園庭連合日本支部代表 仙田 考先生  
14:40 「保育防災認定講座2022」活動発表  
\*受講園活動発表 \*2022年度活動のまとめ  
※消防庁防災アドバイザー（株）タフ・ジャパン 鎌田修広氏  
16:10 「保育防災アクションマイスター」2期生認定式  
17:00 終了予定

#### 2/15(水) 全国集会&研修会2023

10:15 「JP子どもの森づくり運動」活動案内  
11:00 基調講演  
※玉川大学 教育学部 教授 大豆生田啓友先生  
13:00 パネルディスカッション  
※北海道教育大学 教授 能條 歩先生（予定）、他  
14:40 「園庭緑化運動2023」活動案内  
15:40 「保育防災認定講座2023」活動案内  
16:40 「こどもの森づくりフォーラム」活動案内  
17:00 終了予定

### ●講師



玉川大学教育学部  
乳幼児発達学科 教授  
大豆生田 啓友先生



北海道教育大学  
教育学部 教授  
能條 歩先生



田園調布学園大学大学院  
人間学研究科 准教授  
仙田 考先生



消防庁アドバイザー  
(株)タフ・ジャパン 代表  
鎌田修広氏

## 2. 「どんぐりSDGs劇団」活動レポート（千葉県「今井保育園」）

ＪＰ子どもの森づくり運動では、今年度後期より、お芝居の力でSDGsの大切な心を子どもたちに体感してもらいたいことを目指す「どんぐりSDGs劇団」の活動に取り組んでいます。1園目の実施園である千葉県「今井保育園」での活動レポートです。

\*実施日：2022年11月8日(火) \*会場：自園 \*参加園児数：人数は年長8人・年中7人・年少6人  
最初に、子森ネット塚原代表からSDGsについてお話があり、その後、お芝居につながるネイチャーゲームをしてから劇がはじまりました。園児たち全員がSDGsのことを知っていることにびっくりしました。お芝居が終わった後に子どもたちが劇中の歌をうたっていました。子どもたちはみんな、お芝居を集中してみてくれたのだなと思ううれしかったです。（レポートby：子森ネット勝目）



「どんぐりSDG劇団」どんぐり～ずの二人



どんぐり～ずと一緒に記念撮影

## 3. 今年も「エコプロ2022」に出展します。

ＪＰ子どもの森づくり運動では、今年も国内最大の環境展「エコプロ2022」に、下記の内容で出展します。2022年、皆様と共に取り組んできた様々な活動を、パネルや動画でご紹介しております。会場では、様々な企業や団体の環境活動の展示や子どもたちを対象とする環境学習も体験できます。子森ネットとしては、参加園の皆様と事務局スタッフの交流の機会でもあります。小さなブースですが、是非、ブースをお尋ねいただけますようお願い申し上げます。

### 【エコプロ2022開催概要】

- 開催日時：2022年12月7日(水)～9日(金)10時～17時
- 会場：東京ビッグサイト 東ホール
- \*アクセス：りんかい線「国際展示場駅」 徒歩7分  
ゆりかもめ「東京ビッグサイト」 徒歩3分
- 参加費：無料（会場受付にて入場登録が必要となります。）
- \*詳細 ⇒<https://messe.nikkei.co.jp/ep/>

### 【ＪＰ子どもの森づくり運動出展概要】

- ブース位置：東5ホール「森と木で拓くSDGsゾーン」  
ブースNO:F-19
- ブース名：子どもの森づくり運動
- 出展テーマ：子どもの森とSDGs



昨年の展示風景



#### 4. リレーエッセイ（2022年11月号）

幼児(少)期の環境教育をテーマに、北海道教育大学 教育学部岩見沢校 アウトドア・ライフコース 教授 能條 歩（あゆむ）先生によるリレーエッセイ 8 回目の連載です。今月号は、生物多様性の大切さについてです。

##### 自然と私たち～大切な生物多様性

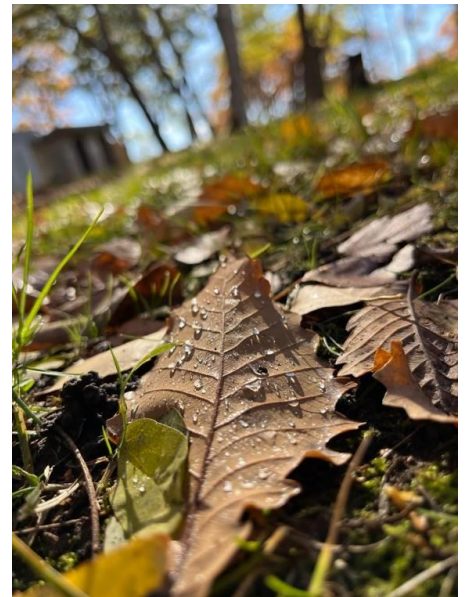
北海道教育大学 教育学部岩見沢校 アウトドア・ライフコース 教授 能條 歩



最近よく「多様性が大事！」という言葉聞くようになりました。何かに関する好みだけでなく、政治や文化についての意見やジェンダーに関する事など、さまざまな場面で取り上げられている言葉だと思いますが、実はかなり以前から“生物多様性”という言葉が環境問題やSDGsに関連して使用されていたことをご存知でしょうか。

“生物多様性”という言葉が国際社会で大きく取り上げられるようになったのは、1993年の生物多様性条約の締結以降ではないかと思います。この条約は、単に絶滅危惧種を保護するために特定の生息地や生物を対象として行動するのではなく、さまざまな生物がいる生態系全体を保全しようという理念で作られています。そして、生物に由来するさまざまな資源の持続可能な利用と利益の公平な分配を目指すものになっています。

生物の多様性には「生態系」「種」「遺伝子」の3つのレベルがあり、それぞれの多様性が守られるように10年ほどの間に実行するための国際目標も定められていましたが、2020年までの20個の目標（愛知目標）は一つも達成できていないという評価になっており、この調子では生物の多様性が失われて取り返しのつかない環境破壊が起こるのではないかと危惧されています。そして、国内であまりこの話題が取り上げられていないことが、私たち環境教育学に携わるものの不安をさらに増大させています。



こどもたちの育ちに多様な環境が必要であることは、おそらくなたにもご理解いただけることと思います。さまざまな環境から受ける刺激や情報によってこどもたちの認知や経験が深まっていくのですから、さまざまな環境（すなわち多様性）を維持するためには、嫌いな虫や寒さを我慢するなど個人レベルでの寛容も必要になってきます。ヒトはともすると快適性を求めるあまり、多様性の失われた環境を求めてしまうことがあります。そうした状況の度が過ぎれば、こどもの育ちを阻害するだけでなく、自然そのものを消滅させてしまう“危機”になることも忘れてはならないように思います。

##### 【筆者近況】

北海道はついに初雪の季節となりました。木々はすでに葉を落とし、山は赤や黄色から茶色や黒に模様替えしました。森の地面は枯れ葉が敷き詰められ、朝露が冬の匂いを運んできています。霜が降りようになると大学は入試のシーズンとなります。寒さが厳しくなるとコロナやインフルエンザなどのウィルスが元気になってしまうという不安もありますが、森を散歩していたら、もうすぐそこまできた冬のためにせわしなく準備しているリスと出会いちょっとうれしくなりました。



#### 5. 事務局（子森ネット）住所移転のご案内

子森ネットは、住所移転に伴い、2023年1月より下記住所にて業務を行います。お手数ですが、住所録の変更をお願い申し上げます。なお、電話・FAX番号、メールアドレスに変更はありません。

⇒ 【新住所】〒146-0094 東京都大田区東矢口2-6-14